

ワントゥウシャンフ！

利用委員会の意義について

3月15日。坂本裕理事長より、えのかわ利用委員会の意義についてオンラインで学習した。

But…

「利用委員会」って、そもそも何～～～？？



内容は初めての言葉ばかりで理解に苦しむ。

話を聞くうちに、やはり医療生協の「いのちの章典」は大事だと思った。これに基づいて広島医療生協は運営されている。そして、利用者や地域住民の要求と事業所の接触をスムーズにする仕組みの一つが利用委員会である。

そもそも医療生協の要である班は、健康づくりの場であることはもちろんだが、医師や看護師など専門職に直接言えない苦情を聞く場でもあった。

いろいろ出る苦情を謝罪して一件落着ではなく、組織全体で共有し、問題の真髓にふれて、前向きに対応・再発防止を具体化していく。

日本国憲法の主権在民は素晴らしい。健康に関する主権在民を具体化することは、健康の自己主張である。

地域の要求は、氷山の一角である苦情から生まれ、それを改善していくのが医療生協であり、利用者との関係性をより一層よくし、地域に求められる（紹介したいと思われる）事業所を具体化し、事業を安定化させ、社会資源を地域に提供する事が利用委員会の役目ではないか？と分かった。

県北地区もえのかわも、ちゃんとせんにや～いけん!!

（高岡 孝子）

支部総会のお知らせ

日時:2021年4月21日(水) 10:00～11:30

場所:寺戸集会所

内容:

学習 「 病院の相談室から見える地域の困り事と対応
～期待される地域のつながり～ 」

講師:広島共立病院相談室 医療ソーシャルワーカー
山地恭子さん

2020年度活動・会計報告

2021年度活動方針・予算採決

ZOOM(ズーム)を利用して、講師と会場をオンラインでつないで学習会を計画しています。

自粛が続いて気持ちが塞ぎがちですが、久々に集まって元気の出る会にしましょう!!



広島医療生協 三次支部

三次市三次町 310-4(県北事務所内)

TEL:(0824)65-6056 FAX:(0824)64-8445

アラ古希夫婦の里山便り

～アラ古希とは…アラウンド古希の事です～

我が家は毎日、薪でお風呂を焚いています。

薪にする木は、家の周りにある木を伐ります。

伐ってから1年くらいは乾燥させなければならないので、今伐っているのは、来年の分です。

薪の長さに切ることを「玉切り」というそうです。

玉切りにした薪を割る作業が「薪割り」

夫が60代前半までは斧でやっていましたが、今ではエンジン式の「薪割り機」を使っています。

時々、10代の孫たちが斧で「薪割りたい（隊）」とやって来ます。

薪割り体験をしたいという方、広島医療生協へお問合せください。もちろん、薪はお持ち帰りください。針葉樹も広葉樹もどちらもあります。（S.Y）



えのかわ訪問記

4月になりました。本格的な春の訪れます。

私は時々近所を散歩しています。近くには高校や公園があり、西城川が流れています。

道すがらイカリソウやイチリンソウ、スミレ、タンポポなどが咲いており、目を楽しませてくれます。

公園では地域の方がゲートボールを楽しんでおられます。その反対側に小さなお堂と一本の紅梅があります。小さな梅の木ですが、毎年咲き始めが気になり、いつほころびるのか楽しみにしています。

また、かわいい親子連れにったり、犬に吠えられたり、懐かしい人に出会ったりと楽しいものです。

この地に嫁いで新しい家族を得て、年を重ねて過ごしています。

これからも続けていきたいですね。（毛利）

在宅介護、療養のご相談は、えのかわへ

訪問看護ステーション えのかわ

TEL 0824-64-8444

居宅介護支援事業所 えのかわ

TEL 0824-53-1888



運営委員さん急募!!

来る2022年度えのかわが20周年を迎えます。

10年後も県北で医療生協が活動し続けるためにお手伝いいただける運営委員さんを探しています。1人1人の声は小さいですが、医療生協の仲間と集まれば、大きな声となります。よりよい県北を作る為にご協力をお願いいたします。

ご興味のある方は県北事務所(0824-65-6056)まで。